



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月6日

上場会社名 中国工業株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 5974 URL <http://www.ckk-chugoku.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 野村 實也
 問合せ先責任者（役職名）経営管理部長（氏名） 小田 和守 TEL (0823) 72-1322
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,530	△3.9	62	—	66	—	11	—
25年3月期第3四半期	8,876	1.3	△39	—	△27	—	△78	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 67百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △86百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	3 42	— —
25年3月期第3四半期	△23 22	— —

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	9,716	3,424	32.5	932 68
25年3月期	9,692	3,360	32.1	917 97

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,159百万円 25年3月期 3,110百万円

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期末配当につきましては未定としております。

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式を併合したため、26年3月期(予想)の配当金予想は、当該株式併合の影響を考慮しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	11,500	99.4	70	—	70	—	70	—	20 66	

(注) 直近に公表されている連結業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式を併合したため、26年3月期通期の1株当たり当期純利益は、当該株式併合の影響を考慮しております。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	3,420,000株	25年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	32,038株	25年3月期	31,773株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	3,388,191株	25年3月期3Q	3,388,484株

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は継続中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式を併合したため、26年3月期の配当及び通期の1株当たり当期純利益は、当該株式併合の影響を考慮して算出した予想値であります。

なお、株式併合の詳細につきましては、平成25年5月27日に開示いたしました「単元株式数の変更、株式併合および発行可能株式総数の変更ならびに定款一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報に基づいたものであり、実際の業績につきましては今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想等の前提となる条件等については、〔添付資料〕3ページ〔当四半期の連結業績等に関する定性的情報〕(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果の期待感から円安・株高が進行し、企業収益環境の改善や個人消費の持ち直しが徐々にみられる等、緩やかな回復の動きが見られた一方で、今春の消費税増税、新興国経済の成長鈍化等により本格的な回復には至っておらず、不透明感を拭えない状況の中で推移しました。

一方、当社グループを取り巻く事業分野も再生可能エネルギーなどエネルギー供給源の多様化等事業環境に変化があり、国内設備投資は緩やかに持ち直しつつありますが、先行きへの慎重な見方から、いまだ力強さに欠ける状況の中で推移しました。

このような経済情勢のなか、当社グループは主力製品である LP ガス容器の需要が増大したことに加え、一般高圧ガス容器への積極的な営業活動に取り組んだ結果、売上高は、高圧機器事業が前年同期を上回りましたものの、鉄構輸送機事業、施設機器事業及び運送事業が設備投資抑制などにより前年同期を下回りました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の売上高は 85 億 30 百万円（前年同期比 3 億 46 百万円の減収）となりました。利益面につきましては、引き続き総コストの削減及び生産効率の改善等に努めました結果、黒字化を達成し、営業利益は 62 百万円（前年同期比 1 億 1 百万円の改善）、経常利益は 66 百万円（同 93 百万円の改善）、四半期純利益は 11 百万円（同 90 百万円の改善）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は、次のとおりです。

高圧機器事業は、LP ガス充填所等プラント工事は減少したものの、主力製品の小型 LP ガス容器、一般高圧ガス容器及び LP ガスバルク貯槽の販売数量が増加した結果、事業全体の売上高は 50 億 61 百万円となり、前年同期を 2 億 57 百万円(5.4%)上回りました。また、セグメント利益(営業利益)は総コストの削減及び生産効率の改善等により、前年同期と比べ 1 億 71 百万円(93.8%)増加し、3 億 53 百万円となりました。

鉄構輸送機事業は、コンベア設備を主体とした搬送機器の工事量が減少した結果、事業全体の売上高は 5 億 31 百万円となり、前年同期を 3 億 31 百万円(38.4%)下回りました。また、セグメント利益(営業利益)は売上高の減少及び利益率の低下により、前年同期と比べ 51 百万円(81.5%)減少し、11 百万円となりました。

施設機器事業は、畜産分野の主力製品である飼料タンク及び畜産関連の設備機器の受注が減少した結果、事業全体の売上高は 7 億 26 百万円となり、前年同期を 2 億 54 百万円(25.9%)下回りました。また、セグメント損失(営業損失)は売上高の減少により、34 百万円と前年同期と比べ 9 百万円の赤字拡大となりました。

運送事業は、国内貨物輸送量が低水準で推移した結果、事業全体の売上高は 22 億 10 百万円となり、前年同期を 19 百万円(0.9%)下回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、コスト削減や事業効率の向上等により、前年同期と比べ 34 百万円(197.0%)増加し、52 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 24 百万円 (0.3%) 増加し、97 億 16 百万円となりました。

資産は、現金及び預金が 1 億 95 百万円、製品が 57 百万円、有形固定資産が 62 百万円それぞれ減少しましたが、受取手形及び売掛金が 4 億 7 百万円増加しました。

負債は、当期から電子記録債権（でんさい）を導入したことにより電子記録債務が 4 億 77 百万円新たに発生しましたが、支払手形及び買掛金が 1 億 73 百万円、短期借入金が 2 億 19 百万円、退職金の支払いにより退職給付引当金が 98 百万円、賞与の支払により賞与引当金が 60 百万円それぞれ減少した結果、負債合計は 39 百万円 (0.6%) 減少し、62 億 91 百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が 11 百万円、その他有価証券評価差額金が 38 百万円それぞれ増加した結果、純資産合計は 64 百万円 (1.9%) 増加し、34 億 24 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く国内関連業界は、景気回復の期待感はありますものの、急激な変化はなく推移するものと予測されます。この様な状況のなか、当社グループは収益の確保に向け売上の拡大及び、あらゆるコストの削減に努めてまいる所存であります。

通期の業績予想につきましては、平成 25 年 11 月 5 日に発表のとおりであります。今後、当社グループを取り巻く国内関連業界の情勢の変化等により、見直しが必要と判断した場合には、通期の業績予想を速やかに開示致します。

なお、当社は平成 26 年 3 月期の期末配当につきましては、未定といたしておりますが、3 月末までには、収益状況等を勘案して発表する予定であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	835,062	639,267
受取手形及び売掛金	3,183,162	3,590,991
製品	178,206	121,180
仕掛品	513,688	506,154
原材料及び貯蔵品	262,900	280,345
その他	156,277	96,193
貸倒引当金	△1,735	△1,607
流動資産合計	5,127,563	5,232,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	582,663	556,790
機械装置及び運搬具(純額)	341,695	326,207
土地	2,249,266	2,249,266
リース資産(純額)	129,637	101,016
建設仮勘定	237	8,138
その他(純額)	19,622	19,594
有形固定資産合計	3,323,124	3,261,013
無形固定資産		
投資その他の資産	36,713	35,659
投資有価証券	1,075,703	1,066,041
建設協力金	25,740	21,330
その他	159,184	159,767
貸倒引当金	△55,994	△59,862
投資その他の資産合計	1,204,634	1,187,276
固定資産合計	4,564,472	4,483,949
資産合計	9,692,035	9,716,474
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,671,096	1,497,481
電子記録債務	—	477,394
短期借入金	2,373,729	2,153,922
リース債務	43,006	35,931
未払金	161,577	138,963
未払費用	81,819	95,743
未払法人税等	24,504	19,143
未払消費税等	35,378	31,372
前受金	107,770	117,366
賞与引当金	84,529	24,233
役員賞与引当金	10,000	7,500
その他	53,281	80,047
流動負債合計	4,646,694	4,679,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
長期借入金	221,769	254,651
リース債務	150,716	125,348
退職給付引当金	1,088,538	990,227
役員退職慰労引当金	75,684	75,684
その他	148,513	166,928
固定負債合計	1,685,221	1,612,840
負債合計	6,331,915	6,291,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710,000	1,710,000
資本剰余金	329,347	329,347
利益剰余金	974,094	985,671
自己株式	△80,477	△80,692
株主資本合計	2,932,963	2,944,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,315	215,565
その他の包括利益累計額合計	177,315	215,565
少数株主持分	249,841	264,643
純資産合計	3,360,120	3,424,534
負債純資産合計	9,692,035	9,716,474

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	8,876,982	8,530,029
売上原価	7,354,751	6,890,310
売上総利益	1,522,230	1,639,718
販売費及び一般管理費	1,561,240	1,577,664
営業利益又は営業損失 (△)	△39,009	62,053
営業外収益		
受取利息	870	788
受取配当金	15,116	14,288
助成金収入	5,054	1,486
その他	22,114	16,383
営業外収益合計	43,156	32,947
営業外費用		
支払利息	20,260	19,918
出向者人件費	3,290	2,599
その他	7,756	6,438
営業外費用合計	31,308	28,956
経常利益又は経常損失 (△)	△27,161	66,044
特別利益		
固定資産売却益	2,378	3,269
特別利益合計	2,378	3,269
特別損失		
固定資産除売却損	3,412	312
投資有価証券評価損	11,262	—
ゴルフ会員権評価損	5,125	3,800
減損損失	1,398	—
特別損失合計	21,198	4,112
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△45,982	65,201
法人税、住民税及び事業税	27,507	29,451
法人税等調整額	2,869	7,801
法人税等合計	30,376	37,252
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△76,359	27,949
少数株主利益	2,333	16,371
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△78,693	11,577

【四半期連結包括利益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△76,359	27,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,452	39,296
繰延ヘッジ損益	△1,094	—
その他の包括利益合計	△10,547	39,296
四半期包括利益	△86,906	67,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,965	49,827
少数株主に係る四半期包括利益	2,059	17,418

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第 3 四半期連結累計期間(自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 12 月 31 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高圧機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,803,047	863,008	981,362	2,229,565	8,876,982	—	8,876,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,455	—	—	388,437	399,892	△399,892	—
計	4,814,503	863,008	981,362	2,618,002	9,276,875	△399,892	8,876,982
セグメント利益又は損失(△)	182,583	63,246	△24,879	17,690	238,641	△277,650	△39,009

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△277,650 千円には、セグメント間取引消去 1,884 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△279,535 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

II 当第 3 四半期連結累計期間(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 12 月 31 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高圧機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,061,013	531,834	726,834	2,210,347	8,530,029	—	8,530,029
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,164	—	—	402,757	420,922	△420,922	—
計	5,079,177	531,834	726,834	2,613,104	8,950,951	△420,922	8,530,029
セグメント利益又は損失(△)	353,888	11,709	△34,319	52,542	383,821	△321,767	62,053

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△321,767 千円には、セグメント間取引消去 827 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△322,595 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。